

お知らせ

～ 台風第 18 号の確定値を掲載～

本年 9 月に日本に接近・上陸した台風第 18 号の事後解析による確定値（経路図と位置表）を、本日、気象庁ホームページの「過去の台風資料」（ ）に掲載しましたのでお知らせします。

事後解析の結果、台風第 18 号は、鹿児島県薩摩半島を通過後、鹿児島県垂水市付近に上陸した後、高知県西部、兵庫県明石市付近に再上陸し、新潟県沖で温帯低気圧となりました。これにより、台風第 18 号は、九州、四国、本州の 3 島に上陸した台風となりました。

気象庁ホームページ「過去の台風資料」の URL

<http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/typhoon/index.html>

【本件に関する問合せ先】

予報部予報課アジア太平洋気象防災センター

電話 03-3212-8341（内線 3137）

< 「速報解析による速報値」と「事後解析による確定値」について >

気象庁が公表する台風の中心位置や中心気圧などには、「速報解析による速報値」と「事後解析による確定値」があります。

「速報解析による速報値」は、限られた時間内に収集できたデータを用いて、速報的に解析したものです。その結果は、速報値として、リアルタイムに発表する台風情報に用いています。

「事後解析による確定値」は、台風消滅後、速報解析時点及びそれ以降に収集した資料も用いて、台風の発生から消滅までの時間的な推移を考慮しながら台風の位置や強度を再度詳細に解析し、最終的に定めたものです。その結果は確定値として、今後の台風予報の精度向上のための基礎資料や、台風の統計資料に用いています。